



成田 あれ・これ



平成31年2月号 第284号

発行：成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

成田山新勝寺 節分会

成田山新勝寺では、「国土安穩・万民豊楽・五穀豊穰・転禍為福」の祈りを込めて、恒例の「特別追儼(ついな)豆まき式」と、「開運豆まき」が厳かにも盛大に執り行われます。「特別追儼豆まき式」には、本年も大相撲力士をはじめ、NHK大河ドラマ「いだてん」出演者の方々が特別年男として参加する予定です。

特別追儼(ついな)豆まき式

【開催日】 2月3日(日) 【場所】 成田山新勝寺大本堂正面特設豆まき所

第1回 11時～ 年男100人、大相撲力士、大河ドラマ「いだてん」出演者参加

第2回 13時30分～年男100人、大相撲力士、大河ドラマ「いだてん」出演者参加、島津亜矢、倉木麻衣

第3回 16時～ 年男50人、大相撲力士、島津亜矢、倉木麻衣

☆特別参加年男(大河ドラマ「いだてん」出演者)は、1回目と2回目のみの参加となります。

開運豆まき ※「特別追儼豆まき」とは、別の豆まきです。

「開運豆まき」には力士、大河ドラマ出演者は参加しません。

【開催日】 2月3日(日)

【場所】 成田山新勝寺大本堂内
(御護摩祈禱にて豆まきを行います)

【時間】 第1回 9時30分～ 第2回 12時30分～
第3回 15時～

【参加者】 一般募集

【参加料】 1人 1万円

【お問合せ先】 成田山新勝寺

TEL 0476-22-2111 8時～16時



宗吾霊堂 節分会

宗吾霊堂では、「節分会追儼式」を修行し、年男はもちろん、女性のみ(特別)の豆まきも執り行われます。また江戸時代より引き継がれている「はしごのり」の妙技が11時と16時に披露されます。

【日時】 2月3日(日) 年男 11時～・16時～ 特別年女 14時～

【場所】 宗吾霊堂本堂前【お問合わせ先】 宗吾霊堂 TEL 0476-27-3132



2月の行事について

房総のむら「むらの昆虫」 千葉県昆虫談話会の協力を得て、房総のむらの昆虫生息状況調査を4年間実施した結果、千葉県初となる種を含む千葉県北部地域で記録のない種が多数確認できました。このことは、房総のむらには北部地域において数少ない良好な「里山」が残されていると言えます。この展示では、むらにおける季節や自然環境とそこに生息する数多くの昆虫との関係などを知っていただけます。

【日時】 2月2日(土)～3月17日(日) 9時～16時30分

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館。)

【お問合わせ先】 千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

飛行機工作教室 簡単でよく飛ぶゴム動力飛行機を作って飛ばしましょう。(材料費:300円)

【日時】 2月10日(祝・日)、11日(振・月) 13時～14時30分

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館)

【お問合わせ先】 航空科学博物館 TEL 0479-78-0557

成田の梅まつり

四季折々趣のある庭園の成田山公園には、紅梅白梅合わせて約500本が植えられています。平均樹齢は70年を超え、苔むした古木が多く凛とした気品ある花と香りで観光客を楽しませてくれます。梅まつり期間中の土曜・日曜は、甘酒の振る舞いや津軽三味線、箏・尺八、二胡などの演奏会や野点が催され、風雅なひとときを過していただけます。

【期間】2月16日(土)～3月3日(日) ※期間中の各土曜・日曜にイベントを開催、雨天中止。

【時間】10時～15時(雨天中止) 【場所】成田山公園内西洋庭園及び文殊の池上梅林

表千家観梅の野点 成田山公園内文殊の池上梅林において観梅の野点を行います。時間:10時～15時(自由参加。定員に達し次第受付終了・目安はお昼頃まで。)

甘酒進上 成田山公園内西洋庭園において無料で甘酒をお配りします。時間:10時～15時

観梅の演奏会 11時、13時30分の1日2回演奏会を行います。

開催日	演奏会	観梅の野点
	時間:11時～・13時30分～ 場所:成田山公園内西洋庭園	時間:10時～15時 (定員に達し次第受付終了・目安はお昼頃まで。) 場所:成田山公園内文殊の池上梅林
2月16日(土)	箏(清翔会)・尺八(竹樹会)	諸岡 宗清 先生
2月17日(日)	二胡(ワン シャオフォン)	熊谷 宗光 先生
2月23日(土)	津軽三味線(通若会社中)	阿地 宗玲 先生
2月24日(日)	民謡(福土豊桜)	八尾 宗保 先生
3月 2日(土)	箏(清翔会)・尺八(竹樹会)	行方 宗岑 先生
3月 3日(日)	二胡(ワン シャオフォン)	矢澤 宗文 先生



観梅の投句コンテスト 兼題は梅! 1人2句以内未発表の作品の投句をお待ちしております。成田山公園内西洋庭園に設置された投句箱にご投稿ください。宗吾霊堂本堂前にも投句箱を設置します。

【お問合せ先】(一社)成田市観光協会 TEL 0476-22-2102

出世稲荷 ～商売繁昌・開運招福・火難消除のご利益～

成田山大本堂前の休憩所の側にある、なだらかな石の階段を上ります。この石段を上がり切ると、右手には成田山の境内が見渡せる景色が広がります。少し息を整えてから、左手の方に進んでみましょう。お稲荷様には欠かせない油揚げを売っている売店を抜けたところに出世稲荷の赤い鳥居があります。鳥居の足元には古い祠や成田街道の道しるべがあり、昔から人々の信仰を集めていたのがよく分かります。

出世稲荷の御本尊は、江戸時代に成田山を篤く信仰した佐倉藩主・稲葉丹後守によって寄進された御尊像です。「出世開運稲荷」と称されて、商売繁昌・開運招福・火伏せのご利益があると伝えられています。

毎年2月の祭礼では、大法会が厳修され、特設舞台で神楽の奉納や甘酒接待が行われ、多くの善男善女で賑わいます。※平成31年は2月14日(木曜日)に「出世開運稲荷祭礼大法会」が執り行われます。

鳥居をくぐると、紫色の垂れ幕や紅白旗、ひときわ目をひく大きな提灯が奉納されています。商売をしているご信徒様が、商売繁昌・出世開運を祈願し奉納されるそうで、成田山のお詣り月である正五九には多くのご信徒様がお詣りに訪れ、お正月には沢山の紅白旗が奉納されるそうです。



現在のお堂は、明治21年に再建された総檜造りのお堂です。朱色を基調として、金色、青色、緑色の極彩色に彩られた色彩が美しく、龍や獅子のきらびやかな彫刻が施されています。

お堂の正面に施された彫刻には、天女の姿が。出世稲荷の本地仏。荼枳尼天(だきにてん)です。神仏習合思想において、仏教における荼枳尼天(だきにてん)が本地仏として仏教寺院で祀られており、成田山の出世稲荷もそのひとつです。

荼枳尼天とは、サンスクリット語で空を歩く者という「ダーキニー」で、元々は古代インドの農業の神様でした。インドの神話においては、人を食らう恐ろしい神様でしたが、仏教界で大日如来の靈力に心服し、白狐に跨がり豊作をもたらす善神となったと言われています。絵馬にも白い狐が描かれています。お願い事を書いて奉納してみたいかたがでしょうか。

☆イベント等の関連情報については、FEEL成田 (<http://www.nr-tk.jp>) をご覧下さい。☆